

- 太陽光発電等を最大限活用するため、九州と本州をつなぐ送電線（関門連系線）を經由して、他エリアへも送電しています。
- 他エリアへ送る電気の量を拡大するためには、関門連系線の事故などが発生した際でも、電気のバランスを保てるように、瞬時に発電機を停止させるシステム（転送遮断システム）が必要になります。

## [システムのイメージ]

